

2023年9月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

非正規雇用希望者の4割が社会保険加入の有無にはこだわっていない

株式会社アイデム

東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2023/09/01～2023/09/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2023/09/02～2023/10/05（34日間）

調査方法

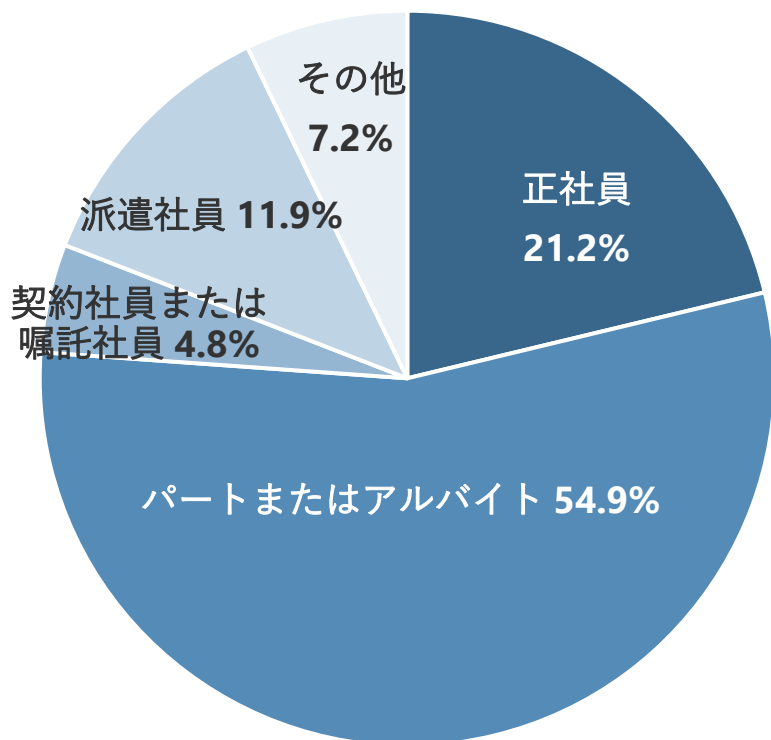
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

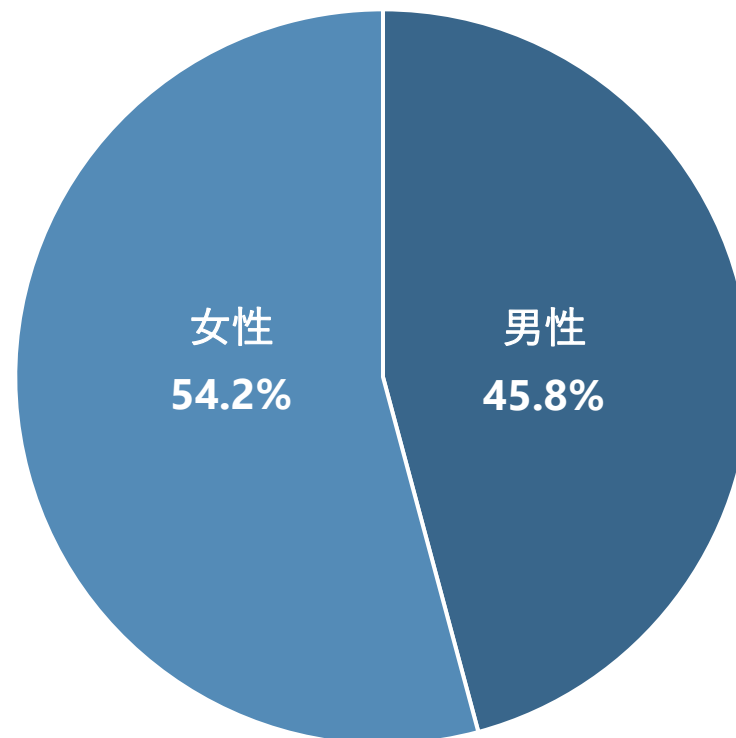
- ▶419件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

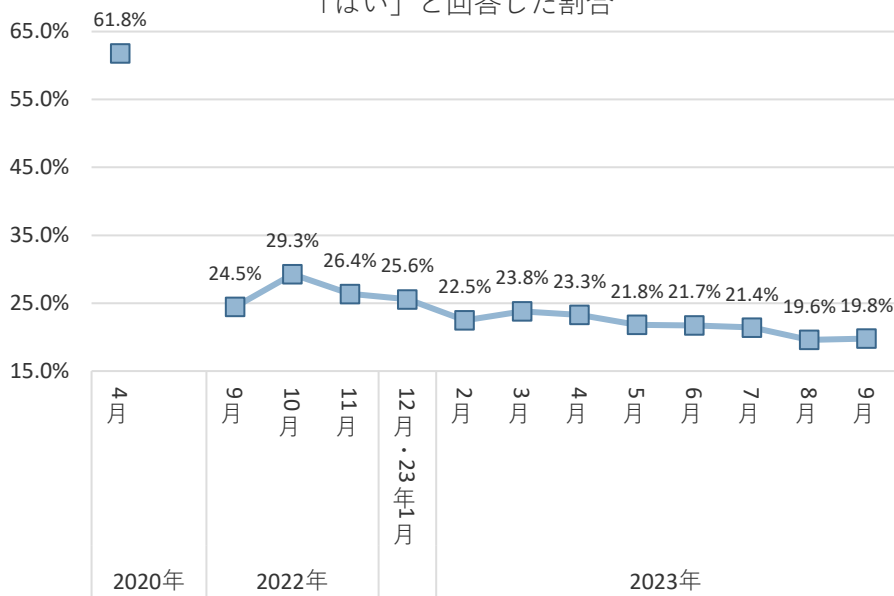
全体で19.8%が「はい」と回答し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていた割合は2割程度となった。2023年に入ってから、仕事探しへの影響は少しずつ縮小している。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「正社員」では25.8%で4人に1人の割合となった。現在では、非正規雇用を希望する人の方が、感染症の影響から仕事探しを始める率が低くなっている。

参考

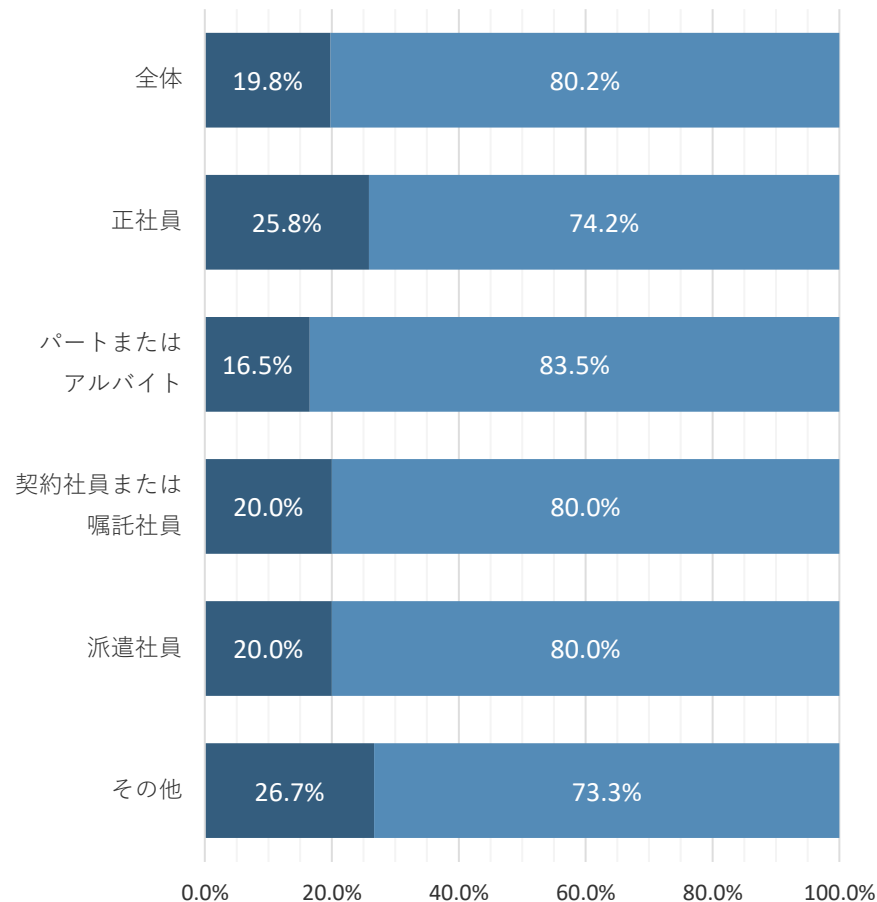
新型コロナウイルス感染症の影響

「はい」と回答した割合



今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ

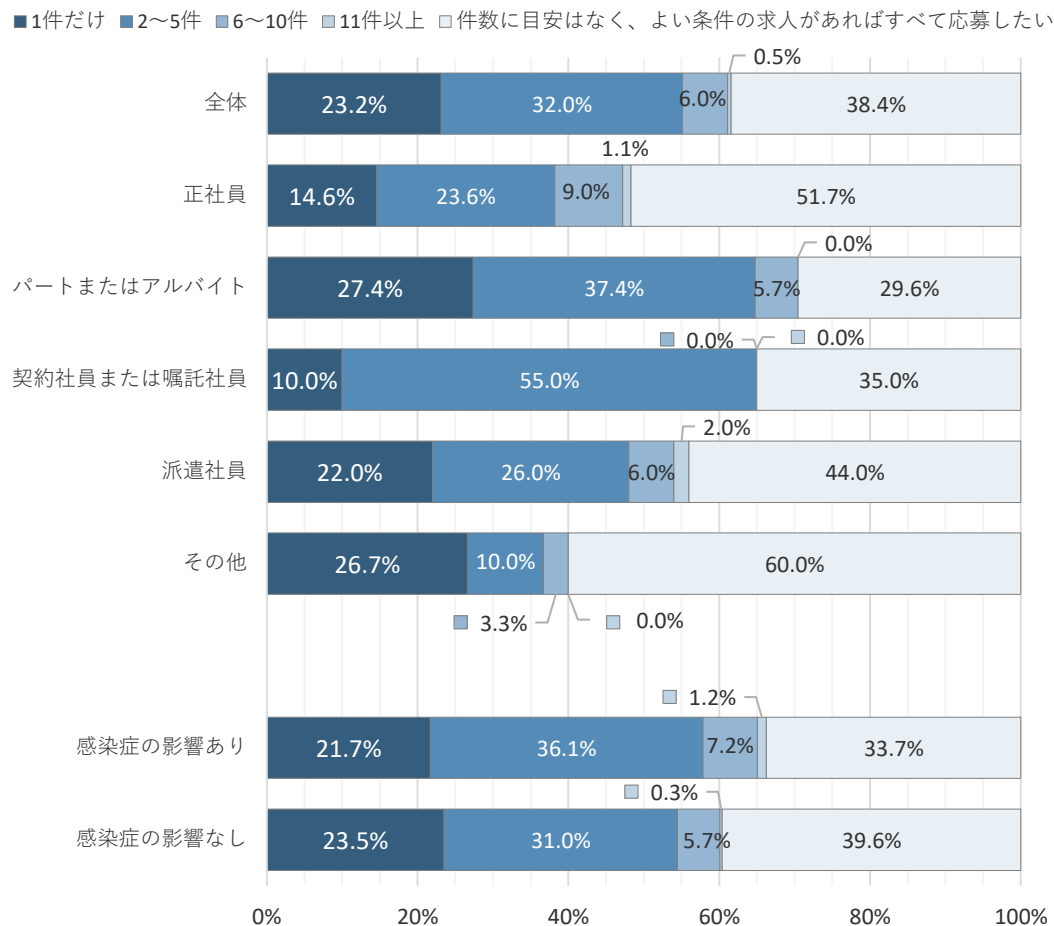


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうか聞いた。全体では、「件数に目安はなく、良い条件があればすべて応募したい」が最も多く38.4%、次いで「2～5件」が32.0%、「1件だけ」が23.2%、「6～10件」が6.0%、「11件以上」が0.5%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の四分の三となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は51.7%となり、パートまたはアルバイト希望者よりも目安を設けていない割合が高い。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」が27.4%、「2～5件」が37.4%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多い。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）別にみると、「感染症の影響あり」の人では「2～5件」が36.1%、「6～10件」が7.2%で、「感染症の影響なし」の人と比べると応募件数の目安が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。

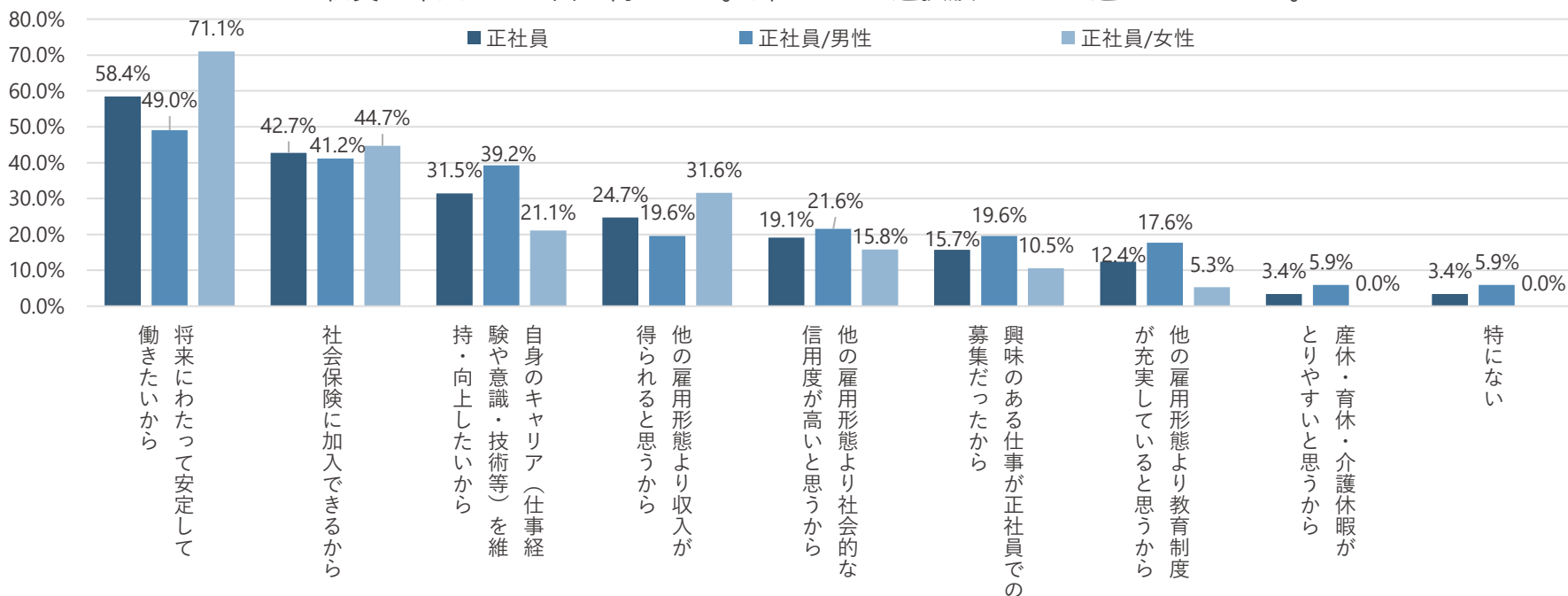


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で58.4%、次いで「社会保険に加入できるから」が42.7%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が31.5%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自身のキャリアを維持・向上したいから」が18.1pt、「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」が12.3pt、「興味のある仕事为正社員での募集だったから」が9.1pt高くなった。気になる職業や、関心のある仕事のスキルアップのために正社員を希望している人が多い。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が22.1pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が12.0pt高くなった。特に安定して働きたいという意向は約7割の人が支持している。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



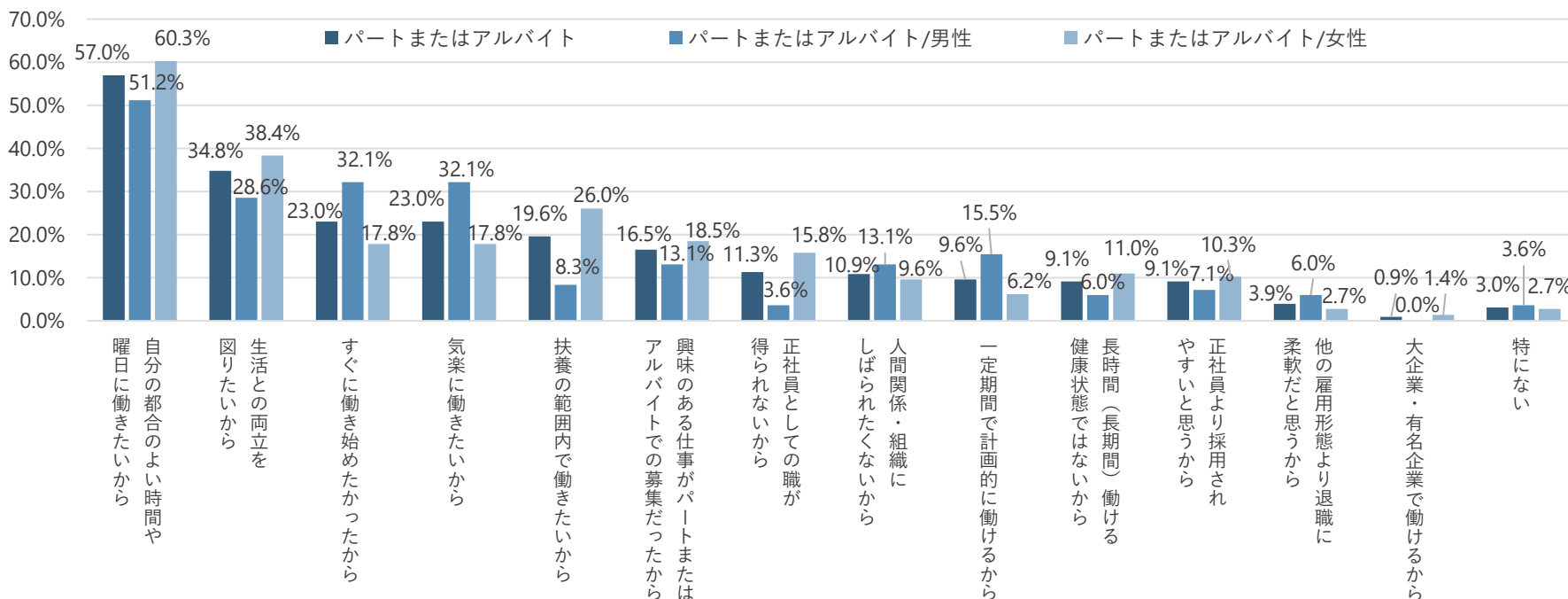
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で57.0%、次いで「生活との両立を図りたいから」が34.8%、「すぐに働き始めたかったから」が23.0%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始めたかったから」と「気楽に働きたいから」が14.3pt、「一定期間で計画的に働けるから」が9.3pt高くなった。一時的にできる仕事を探している人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が17.7pt、「正社員としての職が得られないから」が12.2pt、「生活との両立を図りたいから」が9.8pt高くなった。収入や働く時間に制限がある人と、希望の雇用形態での勤務がかなわずパート・アルバイトを選んでいる人が混在していることが伺える。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



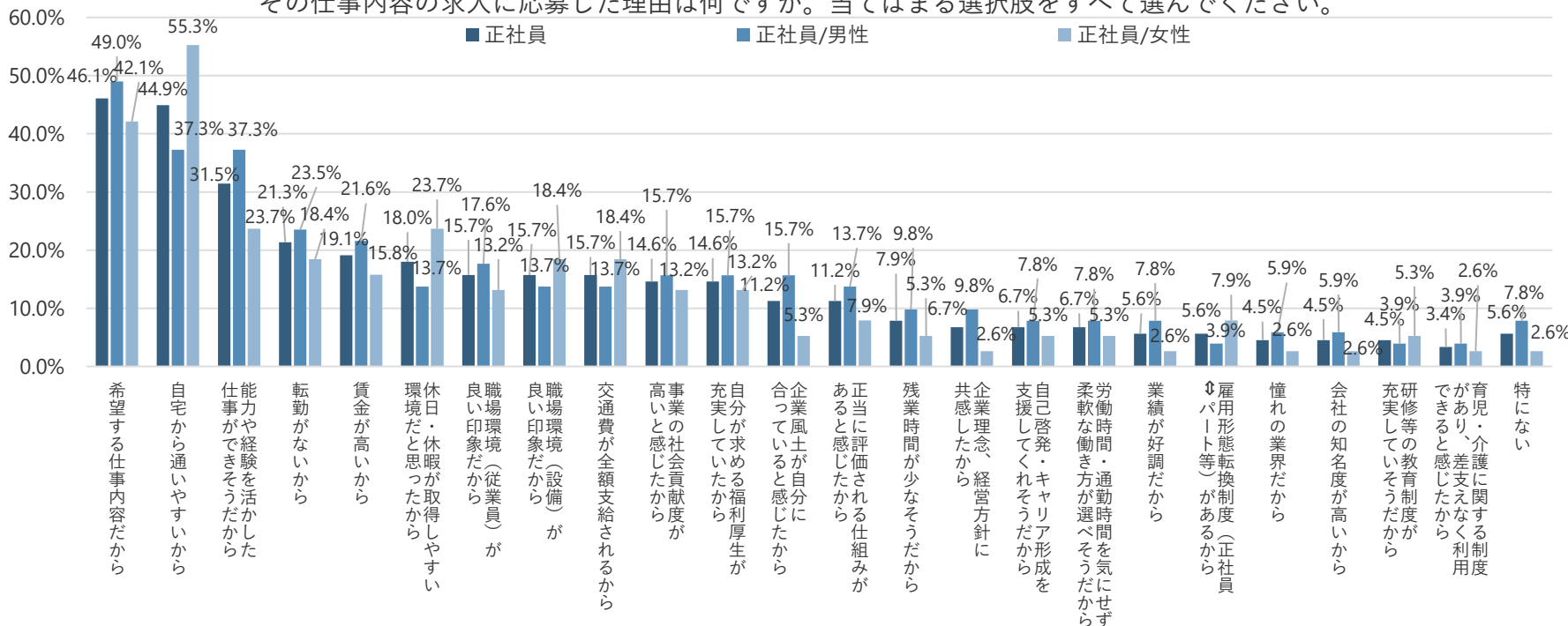
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」の46.1%、次いで「自宅から通いやすいから」が44.9%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が31.5%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が13.6pt、「企業風土が自分に合っていると感じたから」が10.4pt、「企業理念、経営方針に共感したから」が7.2pt高くなった。会社の雰囲気や方針に納得できたところに応募する人が女性よりも多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が18.0pt、「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が10.0pt高くなった。特に、自宅から通勤がしやすい範囲で仕事探しをしている人は、女性の半数以上が選択した理由だった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



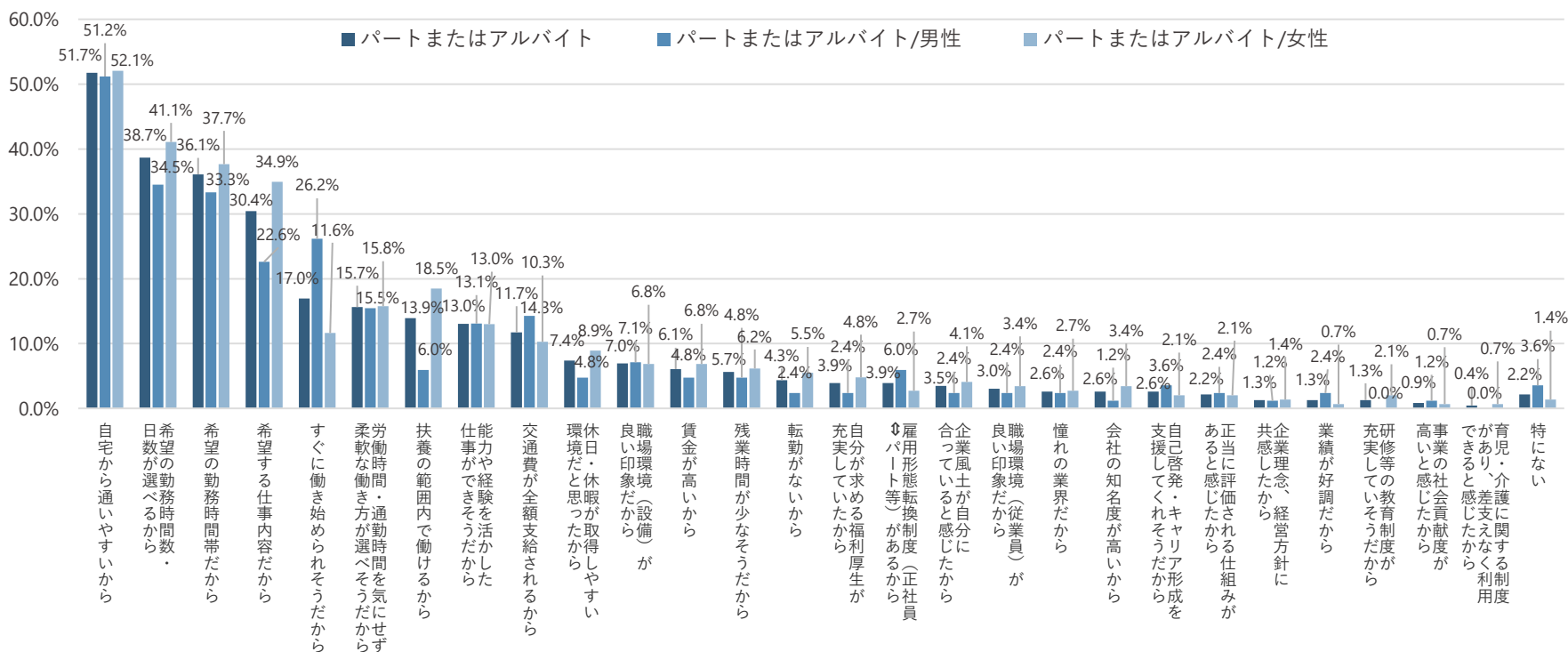
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で51.7%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が38.7%、「希望の勤務時間帯だから」が36.1%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が14.6pt高くなった。すぐに働きたいという意向は希望の雇用形態を選んだ理由としても挙がっていて、優先される理由となっている。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が12.5pt、「希望する仕事内容だから」が12.3pt、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が6.6pt高くなった。収入に制限を設けた働き方のほか、取り組んでみたい仕事かどうかも大切にしているようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムに掲載された求人に応募した人のうち、非正規雇用を希望する人（パートまたはアルバイト、契約社員または嘱託社員、派遣社員の計）に、社会保険への加入希望をきいた。

非正規希望計では、「社会保険に加入できる仕事につきたい」が32.7%、「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」が14.7%、「社会保険加入有無はこだわっていない」が40.3%となった。

同様の調査を実施した2022年8月の結果と、同じく2021年10月の結果とを比べた。希望内容の割合が大きく変動することはないが、「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」との回答は年々減少している。また、過去2年間と比べると「わからない」と回答した割合が高い。今話題になっている年収の壁解消に向けた取り組みによって、対応を決めかねている人もいる可能性がある。

年代別に回答結果をみると、「社会保険に加入できる仕事につきたい」は「50代」で最も高く43.3%に上り、いわゆる壁を気にせず働きたいという人が多いようだ。一方、「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」は、「40代」が24.3%で、他の年代よりも高くなっていた。「60代」では、「社会保険加入有無はこだわっていない」が53.0%で半数を超えている。「30代以下」は制度を知らない学生等も含まれていることもあってか「わからない」が46.3%と半数近くに上り、制度の認知に他の年代より課題がありそうだ。

性別にみると、「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」は女性と男性で明らかに差があり、女性の方が男性より14.5pt高く20.8%だった。女性は「社会保険に加入できる仕事につきたい」の割合も男性より高く（34.7%）、事前に入社如何の意思がはっきりある人が多いようだ。企業は求職者に希望をきくことと、さらに企業側の希望や方針も伝えることで、ミスマッチを防げる見込みがある。

非正規雇用を希望する方に伺います。社会保険の加入について、あなたの考えに最も近い内容はどれですか。

